

奥州市環境市民会議

奥州めぐみネット会報

創刊号

2010.5

会員数 109

H22.5.1 現在

「未来を見つめる百年循環都市 まち 地球と共存する奥州」を目指して

奥州市環境市民会議 「奥州めぐみネット」

平成22年3月22日設立



平成22年3月22日開催の
設立総会及び部会の風景

奥州市長からのメッセージ

この度は、奥州市環境市民会議「奥州めぐみネット」が多くの市民の皆さまのご参加により設立されたことにつきまして、誠におめでとうございます。

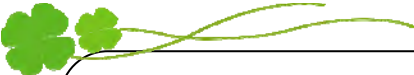
恵み豊かな奥州市の自然と共存し、住みよいまちづくりを進めるためには、市民、市民団体、事業者の皆さまと行政が手をたずさえて進めていかなければなりません。

環境にやさしいまちづくりに今後ますます御協力、御活躍いただけることを御期待申し上げます。お祝いのメッセージといたします。

奥州市長 小沢昌記

役職員紹介

代 表	高橋貞勝
副代表	中井 慶
会計監事	菊池典郎
	高野紀代
資源循環・廃棄物部会部会長	佐藤恭彦
// 副部会長	岩渕一夫
自然環境部会部会長	鈴木輝男
// 副部会長	村上英明
生活環境部会部会長	建部 信
// 副部会長	伊藤一哉
環境学習部会部会長	阿部利朗
// 副部会長	若生和江



代表あいさつ

奥州めぐみネット

代 表 高 橋 貞 勝



奥州市環境市民会議・奥州めぐみネットを代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

奥州市の素晴らしい自然や生活環境などを、市民と行政が協働し、より良い状態にして後世に引き継ぐことを基本理念として、平成 19 年 3 月に「奥州市環境基本条例」が制定され、21 年 3 月には「奥州市環境基本計画」（計画策定委員 24 名）を策定、21 年度は同計画の実施主体である「奥州市環境市民会議」の発足に向けて、設立準備会（33 名）が、理想的な組織作りを検討してまいりました。

4 年間の準備期間を経て、本年 3 月 22 日に設立総会が小沢市長様、佐藤県南広域振興局副局長様はじめ、多くのご来賓、会員にご出席をいただき、盛大に挙行されました。今後の運動の展開に幸先の良いスタートを切れたものと、衷心より喜んでおります。

また、条例制定から市民会議設立総会までご指導、ご支援を賜りました、岩手県立大学の田島平伸、高橋秀行両教授、佐野嘉彦准教授には、心から感謝申し上げますとともに、今後のご指導もお願い申し上げます。

さて、豊穡な北上平野を大河北上川が貫流し、奥羽山脈から北上山地に連なる、日本一の大湖琵琶湖の 1.5 倍の広大な面積を有する奥州市は、美しい自然環境、住みよい生活環境に恵まれているように、思われがちです。

しかし、近年は間伐や除伐などの手入れのされない荒廃した森林が増加し、山地や河川、道端への可燃物、不燃物の不法投棄やポイ捨て、水質汚濁も後を絶たない状況です。

自然豊かと標榜される岩手県や当市でも、環境悪化や環境破壊が懸念され、貴重な動植物の減少絶滅は、人間社会への警鐘ともいえます。

環境問題の範囲は広く多様で、私たちの出来ることは本当に小さなことかもしれません。しかし、対処を放置し、また遅くなるほど取り返しがつかないほど傷跡が大きく深くなります。

地球温暖化防止対策、自然環境、生活環境の保全や、省資源活動、廃棄物の減量化、資源の再利用、再使用等への対応が大変重要です。

このような活動は、市民一人ひとりの意識の変革が求められ、特に、幼少時からの環境教育が重要で、県、市、教育機関、各種団体や事業所、市民と連携して、一日も早い取り組みをしたいものです。

現在の会員数は 109 名(団体)（個人、団体、事業所、賛助会員）と多くの皆さまにご入会をいただいております。会員には「資源循環・廃棄物部会」、「自然環境部会」、「生活環境部会」、「環境学習部会」のどれかに所属していただきました。

事業実施に当たり、部会では会員の融和を図り、一人ひとりの意見を尊重しながら、十分に討議を深め、実効ある活動を展開していただきたいと思います。

当会の特徴は、市民と行政が対等の立場で協働して活動し、基本計画に基づき、「市内の環境関係施策の進捗状況の管理・評価」、「市長に対して提言を行う」ことが出来るなど、有用な機能を有しています。

環境市民会議の発足は、県内はもとより全国的に見ても非常に少なく、当市が理想郷づくりの先達となればとも思います。

今後早期に県内各地に同様の組織が発足し、岩手県全体で理想的な環境づくりに邁進することを、念願しております。

最後になりますが、当会の活動が順調に展開され、「誇りを持って、美しい自然と住みよい生活環境を、次の世代に引き継ぐ」ことが出来るよう、さらに新入会員が増加し、運動の輪が大きく広がること、市、県をはじめ関係機関との連携、ご支援を念願してご挨拶いたします。





平成 22 年度 活動計画（予定）



○ 資源循環・廃棄物部会

活 動 名	活 動 内 容
不法投棄発生場所の調査	市内の不法投棄常習場所等の現地調査を実施します。
不法投棄・ポイ捨て防止市民運動の展開	不法投棄発生原因の分析と発生防止策の検討をします。
マイバッグ運動の実践	マイバッグ使用に関する啓発活動を行います。

○ 自然環境部会

View Point 発見ツアー	胆沢扇状地等を望むビューポイントやビオトープ等を発見するツアーを行います。
身近な自然観察会	胆沢川、胆沢扇状地の自然を観察します。
情報交換会	自然環境のデータベースの作成に向けて情報交換や資料整理などを行います。

○ 生活環境部会

あなたも万年自然人！	奥州万年の森を探索し、初夏の樹木や野草とその周辺の生きものの観察や、桑の実、桑の葉茶、野草を用いた料理と玄米おにぎりを試食します。
田んぼは生きている！	江刺区の無農薬田んぼで、有機農業を支援する「NPO 法人メダカのがっこう」と共に生きものの観察や、田んぼ周辺の野草を用いたお茶と料理、釜炊き玄米ごはんを食べます。
ホントの稲の姿	田の観察と稲刈り体験や、季節の野草料理と白米の食べ比べをします。
タバコ・レッスン	環境関係の各種イベントなどで、タバコに関する情報を提供します。
タバコ事業者へのアンケート	市内のタバコ販売業・タバコ自販機設置業者を対象に、タバコ問題に関するアンケートを実施します。
環境パネル巡回展示	「環境月間」に合わせ、環境関連パネルを市役所各総合支所にて巡回展示します。
小・中学校での地球温暖化授業への支援	市内の中学校などでの地球温暖化に関する授業を支援します。
低炭素社会に向けた方策の掲載	「低炭素社会に向けた 12 の方策」を会報に連載します。
家庭ゴミと CO ₂	廃棄物処分場などを回り、家庭から出されたゴミがどのように CO ₂ を排出するかを見学します。

○ 環境学習部会

「エコの楽校」意見交換会	エコの楽校の検討のため、意見交換会を行います。
奥州の大地の歴史たんけん	奥州の環境を知る機会として、市内の大地を見学して歩く機会を提供します。
市内の河川の現状を知ろう	水生生物等による水質調査を実施し、市内の河川の現状を知る機会を提供します。
大きくて古い胆沢扇状地を体感！	日本の三大扇状地の一つである胆沢扇状地を見学する機会を提供します。
「奥州の自然」の編製に向けた資料収集と情報交換	「奥州の自然」の編製に向けた資料収集と情報交換を行います。
環境フォーラム 2010	環境フォーラムの企画、運営を行います。



この他にも各部会では様々な活動が検討されています。
決まり次第随時お知らせしていきます。





平成 22 年度 活動カレンダー（予定）

月	資源循環・ 廃棄物部会	自然環境部会	生活環境部会	環境学習部会
通年 活動	運営会議（毎月開催）			
	・不法投棄・ポイ捨て防止市民運動の展開 ・マイバッグ運動の実践	・情報交換会	・タバコ・レッスン ・学校での地球温暖化授業への支援 ・低炭素社会に向けた21の方策の掲載 ・タバコ事業者へのアンケート	・「エコの楽校」意見交換会 ・「奥州の自然」の編製に向けた資料収集と情報交換
4				・奥州の大地の歴史たんけん
5	・廃棄物発生場所の調査			
6		・View Point 発見ツアー	・環境パネル展示 ・あなたも万年自然人！	
7			・田んぼは生きている！	・市内の河川の現状を知ろう
8				
9		・身近な自然観察会		
10			・ホントの稲の姿	・大きくて古い胆沢扇状地を体感！
11				・環境フォーラム
：				
3	定期総会			

※ 所属部会以外の部会活動に参加することも出来ます。

会員紹介

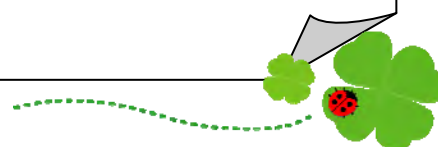
『NPO 法人エコ・スタディいさわ』 理事長 村上英明さん

当会では、「水の森楽園」と題した親子一緒の自然体験活動を年十数回開催しています。

4/17 春の草花観察会	8/ 7 川遊び	12/25 郷土料理教室
5/16 新緑の森観察会	9/18 ふるさと散策会	1/15 エコ教室
6/19 縄文土器づくり	10/16 秋の森散策会	2/19 カンジキ体験会
7/24 水生生物観察会	11/20 炭焼き体験会	3/26 キノコ栽培

要項は、開催日の 1 ヶ月前に発表します。詳しくは、胆沢ダム学習館（電話 0197-49-2501）又は事務局 千田和子（電話 0197-46-2558）へお問い合わせください。

なお、私たちの団体は、奥州市 0.4%支援事業の認定を受けて、国史跡大清水上遺跡に関わる縄文の歴史を感じとりたいと思っています。





奥州の大地の歴史たんけん

環境学習部会では、奥州めぐみネットの記念すべき第 1 回の活動とも言える「奥州の大地の歴史たんけん」を 4 月 25 日（日）に 29 名の参加をいただいて開催しました。

この活動は、5 億年の歴史の奥州の大地を、時代を追って体感しながら、人間の歴史や恵まれた自然の土台である奥州の大地に対して理解を深めようということで、



母体変成岩を探しに前沢区母体の不動明王の滝へ

当会の会員でもある岩手大学講師の吉田智子先生にご案内をいただきながら、バスで市役所を出発し、胆沢扇状地の河岸段丘の一部を見ることができる水沢公園や母体変成岩や亜炭、化石から奥州の大地について触れ、最後には前沢区の音羽山から胆沢扇状地を望み、奥州の大地の雄大さと歴史の深さを改めて感じることができた活動でした。



化石を発見しました



前沢区の音羽山から胆沢扇状地を望む



○ 低炭素社会に向けた 12 の方策

温室効果ガスの排出量を削減するために、未来へ向かって私たちができることはなんでしょうか？

低炭素社会を実現するためには、いまの社会の仕組みを考え直し、なにをどのように変えるべきかをまず知ることが大切です。

いつ、どのような技術や社会システムの導入・変革をおこなうべきか、そして私たちは、具体的にどのようなことをすべきなのか。

2008 年 5 月 22 日「脱温暖化 2050 プロジェクト」研究成果として「低炭素社会に向けた 12 の方策」の環境省報道発表があり、「2050 日本低炭素社会」シナリオ

を実現するための手立てが示されました。

また、この報告書では右の 2 つのシナリオが描かれています。

「低炭素社会に向けた 12 の方策」とはどんな方策なのか、次回から抜粋してお知らせします。興味のある方は早速インターネットでの検索をお勧めします。（環境省の報告書より引用）

表 1 想定した 2 つの社会経済像（シナリオ A とシナリオ B）

シナリオ A: 活力、成長志向	シナリオ B: ゆとり、足るを知る
都市型/個人を大事に	分散型/コミュニティ重視
集中生産・リサイクル技術によるブレイクスルー	地産地消、必要な分の生産・消費もったいない
より便利で快適な社会を目指す	社会・文化的価値を尊ぶ
GDP1人当たり2%成長	GDP1人当たり1%成長
	

絵：今川朱美

～奥州エフエムに生出演！～

お茶っラジオの 778 っぴーエコライフ（毎週火曜日 10:30～10:40）に奥州めぐみネットの会員が生出演し、活動紹介や耳寄り情報など PR しています。ぜひ聴いてみてください。

♣ 奥州めぐみネット会員募集！

一緒に活動しませんか！

年会費（個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円、事業所会員 3,000 円、賛助会員 一口 2,000 円）

ご入会申込・お問合せは事務局まで

♣ 広報編集委員会を設置

先日開催された運営会議において、運営会議内に広報編集委員会（委員：各副部会長／委員長：伊藤一哉／副委員長：若生和江）を設置しました。会報の発行やホームページにより活動状況など様々な情報を発信していく予定です。

◇ 編集委員の独り言 ◇

始まったじゃあ～ 奥州めぐみネット！

なかなか、ええ塩梅に会員さんが沢山ござったごどおで、おら、たまげだじゃ～。

まずは、おもしろプロジェクトがいっぺえで、どでんしたども、みんなでわったわったどやるべじゃ。

そいでな、いっちょめかだるども「めぐみ」とは神様の火と水が「十」に組んだとごさ、田んぼの「田」自然だな。そごさ、おらだじの「心」があって「恵～めぐみ」と書くのじゃ。おうしゅうのめぐみは、いわてでもずばぬげでるのじゃ。

ニタニタして次の独りかだり楽しみにしてでけらいん。せばな～！！